



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2023

7月28日号

195
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒963-0201 郡山市大槻町字原ノ町3-1 TEL/FAX 024(954)7595

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

ビートルズからの AI・告示研修？



会長 新里 昌一

2017年4月、来日したポール・マッカートニーのコンサートに子供たちと行きました。まさかこの歳になって、元ビートルズのメンバーの生ライブに行けるとは思ってもみませんでした。ビートルズは、私が小学校時代にデビューして、中学に入ると解散してしまいました。

小学校3年の時には、日本来日で大騒ぎになった事を覚えています。右翼が街頭で、西洋乞食の音楽が若者を駄目にする騒いだりして社会現象にもなりました。武道の殿堂でもある武道館を貸すか貸さないか？結局、エリザベス女王から勲章を受章しているので日英友好の使者として貸す事が認められました。アメリカでは、コンサートがTV中継された夜に、少年犯罪が0だった記録があるそうです。

何事も晩熟の私は、解散後の高校時代からファンになりギターを弾きだしました。彼らの歌を聴き映画を見て、再結成の噂を心待ちにしていました。技師学校時代には、来日したポールが麻薬所持で拘束・強制送還された事もありました。

ビートルズのメロディーメーカーはポールで幅広い曲を作りました。個人的に好きなジョン・レノンは、変わった曲も多く良いアクセントになっています。ジョンはラブ&ピースを訴え、その後に殺された事で聖人化してしまいました。

Facebookで知り合った方から、ビートルズファンの集まるグループを紹介されて2つも入っています。かなり専門的で勉強になっています。例えば「バックインザUSSR」では、ポールが余計な事を言ってリンゴ・スターを怒らせ出て行ったので、ドラムはポールが叩いているので軽いとか。

また最近、昔のジョンのデモテープからAIでノイズ除去してビートルズの新曲にする話がありました。画像技術でのCTやMRIのノイズ除去に共通するところがありますね。そう言えば、CT開発にはビートルズが関係している事を若い人は知らないでしょうね。いつかこの話も書きたいと思います。

この歳になっても知らなかった事が多く驚きの連続です。また2019年に外出が出来ないため40年ぶりにギター購入（エレアコ）しました。まだまだ中学生程度の腕前ですが、何事も勉強だと思っています。言い訳として会長職が忙しくて弾く暇がありません。

こんな爺さんですが、昨年度は告示研修を受講しました。若い皆さんはぜひ受講をして業務拡大に努めてください。2040年には人口減少が反映してCTやMRI、一般撮影業務が増加からピークを迎えて減少傾向に転じて行きます。これは厚生労働省科学研究成果データベース（文献番号202122055A）に記載されています。技師過剰の対策の1つとして告示研修が大変重要になります。他職種でも同様に危機感を抱いて業務拡大を進めています。我々も同様に告示研修（実技研修）を強く推進して行きたいと考えます。

福島県立医科大学 保健科学部診療放射線科学科だより

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 加藤 貴弘

皆さま、こんにちは。つい先日令和5年度が始まったばかりと思っていましたが、あっという間に3ヶ月が経過し、夏真っ盛りという感じです。福島は1日の中でも寒暖の差が激しく、生まれも育ちも愛知県の私にとっては当初はかなり戸惑いました（愛知県の夏は1日24時間、ただただ暑く、夏に寒と感じる瞬間は皆無です）。福島に来て16年以上経ちましたので今ではすっかり慣れましたが、それでも着る服に迷うことは今でもありますね。

さて、今回は話題提供として保健科学部のホームページ（<https://fmu-hs.jp>）について簡単にご紹介させていただきます。皆さま一度はご覧になられたことはあるかと思いますが、『教員からのメッセージ』という保健科学部独自のコンテンツがあることはご存知でしたでしょうか？これは準備室時代の2020年8月から新たに始めたものであり、ちょうど開始から3年が経過したことになります。私が広報委員長時代に“少しでもアクセス数を増やすために”と苦肉の策で試験的に始めてみたのですが、当初は教員数が少なかったこともあり、頻回に原稿の順番が回ってくるため、内部からは“もうネタがない！”、“これは一体いつまで続けるの！？”といった苦情(?)が殺到し、どうしたものかと地味に頭を悩ませていたことを思い出します（今だから白状しますが、私自身も原稿執筆を負担に感じ、1年で終了しようと決断した瞬間もありました）。ただ、そうこうしているうちに学内外から“あのコンテンツは面白いね”といったコメントをいただくようになり、さらに開学してからは教員数も増えて個々の負担も著しく改善されたため、ネガティブな意見もほとんどなくなり、今では恒例のコンテンツとして定着した感があります。たかだかホームページの1コーナーに過ぎませんが、この経験を通して私自身多くのことを学ばせていただいた気がしているところです。当初はあくまで受験生向けという趣旨で開始したのですが、今は内容フリーとしており、なかなかバラエティに富んだ内容で手前味噌ですが、毎回面白いなと感じています。まだご覧になられていない方は是非一度お時間のある時に覗いてみていただければと思います。

人生の岐路に立つ

2023/04/19

人生の岐路に立った時、人はどう判断し、どう行動するのか。それは人それぞれだと思います。思えば、私が人生の岐路に立った時、常に人生の師と仰ぐアントニオ猪木氏の言葉があったように思います。

“いつ何時誰の挑戦でも受ける！”

“やれんのか！”

“元気があれば何でもできる！”

“迷わずにゆけよ、ゆけばわかるさ！”

多くの力強い言葉とその生き様に勇気付けられ、一歩踏み出すことができました。今はただただ感謝の気持ちで一杯です。

これからも猪木イズム継承者の一人としてストロングスタイルで生きていきたいと思います。

“人生の3カウント”を受容するその日まで。



写真：ストロングスタイルの原点、新日本プロレス道場前にて

令和5・6年度 県技師会 理事・監事

会 長	新里 昌一								
副 会 長	佐藤 勝正	鈴木 雅博	布川真理子						
常 任 理 事	堀江 常満	石森 光一	久保 均						
理 事	池田 正光	松井 大樹	三浦 勉	鍵谷 勝	濱端 孝彦				
	菅野 修一	森屋 辰裕	渡部 仁	名城 敦	久米本祐樹				
監 事	斎藤 康雄	蓮沼 一夫 (外部)							
事 務 局 長	阿部 郁明								
事務局委員	國分 美加 (会計)	本田 清子 (引継)	笹川 克博						
特別事務職	続橋 順市	大原 亮平							

令和5・6年度 各種委員会

総務企画委員会

委 員 長	新里 昌一	県南	太田西ノ内病院	委 員	布川真理子	浜通	渡辺病院
副委員長	鈴木 雅博	会津	竹田綜合病院	委 員	佐藤 勝正	県北	福島県立医科大学附属病院
委 員	池田 正光	県北	福島県立医科大学附属病院	委 員	鍵谷 勝	県南	総合南東北病院
委 員	名城 敦	浜通	いわき市医療センター	委 員	続橋 順市	県南	星綜合病院
委 員	阿部 郁明	県北	福島県立医科大学附属病院	委 員	國分 美加	県南	総合南東北病院
委 員	本田 清子	県北	福島県立医科大学附属病院	委 員	斎藤 康雄		
委 員	蓮沼 一夫						

表彰委員会

委 員 長	阿部 郁明	県北	福島県立医科大学附属病院	委 員	鍵谷 勝	県南	総合南東北病院
副委員長	新里 昌一	県南	太田西ノ内病院	委 員	鈴木 雅博	会津	竹田綜合病院
委 員	池田 正光	県北	福島県立医科大学附属病院	委 員	名城 敦	浜通	いわき市医療センター
委 員	笹川 克博	県南	太田西ノ内病院	委 員	國分 美加	県南	総合南東北病院
委 員	斎藤 康雄						

財務委員会

委 員 長	濱端 孝彦	県南	坪井病院	委 員	宮岡 裕一	県北	福島県立医科大学附属病院
副委員長	三浦 勉	県北	JCHO二本松病院	委 員	井上 基規	会津	竹田綜合病院
委 員	阿部 郁明	県北	福島県立医科大学附属病院	委 員	伊藤 敬	県南	寿泉堂綜合病院
委 員	國分 美加	県南	総合南東北病院	委 員	高橋 誠	浜通	いわき市医療センター
委 員	本田 清子	県北	福島県立医科大学附属病院				

原子力災害対策委員会

委 員 長	菅野 修一	県南	田村市立都路診療所	委 員	鈴木 雅博	会津	竹田綜合病院
副委員長	佐久間守雄	県南	星綜合病院	委 員	久米本祐樹	浜通	南相馬市立綜合病院
委 員	池田 正光	県北	福島県立医科大学附属病院				

生涯教育委員会

委 員 長	堀江 常満	県北	大原綜合病院	委 員	瀧田 幸子	県南	太田西ノ内病院
副委員長	大原 亮平	県南	太田西ノ内病院	委 員	吉田 賢	会津	会津医療センター
委 員	樵 勝幸	県北	福島県立医科大学附属病院	委 員	鈴木 梨沙	会津	竹田綜合病院
委 員	笹木 毅	県北	公立藤田綜合病院	委 員	石川 智大	浜通	いわき市医療センター

学術委員会

委 員 長	松井 大樹	県北	北福島医療センター	委 員	小沼慎一郎	会津	会津中央病院
副委員長	名城 敦	浜通	いわき市医療センター	委 員	栗田準一郎	会津	竹田綜合病院
委 員	鈴木 雅博	会津	竹田綜合病院	委 員	新妻 知之	浜通	かしま病院
委 員	橋本 浩二	県北	大原綜合病院	委 員	田代 和広	浜通	公立相馬綜合病院
委 員	相澤 浩樹	県北	福島赤十字病院	委 員	深谷 理人	県南	太田西ノ内病院
委 員	浅野佳寿雄	県北	公立藤田綜合病院				

編集広報委員会

委 員 長	布川真理子	浜通	渡辺病院	委 員	風間 顕成	会津	坂下厚生綜合病院
副委員長	久保 均	県北	福島県立医科大学保健科学部	委 員	高畑 賢也	会津	飯塚病院附属有隣病院
委 員	安藤 智則	県北	大原綜合病院	委 員	大井 和広	浜通	小野田病院
委 員	佐藤 勝行	県北	福島赤十字病院	委 員	清野 保幸	浜通	福島労災病院
委 員	鍵谷 勝	県南	総合南東北病院	委 員	白土 恵	浜通	常磐病院
委 員	長谷川栄寿	県南	公立岩瀬病院				

精度管理委員会

委員長	森谷 辰裕	会津	会津中央病院	委員	皆川 貴裕	会津	竹田綜合病院
副委員長	佐藤 勝正	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	久米本祐樹	浜通	南相馬市立綜合病院
委員	高橋 克広	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	渡邊 聖史	浜通	いわき市医療センター
委員	佐藤 真司	県北	杣記念病院	委員	秋山 俊一	県南	総合南東北病院
委員	坂内 遥哉	会津	会津医療センター	委員	鈴木 博文	県南	星富久山医院

調査委員会

委員長	渡部 仁	会津	会津医療センター	委員	遠山 和幸	会津	南会津病院
副委員長	久米本祐樹	浜通	南相馬市立綜合病院	委員	加藤 裕之	会津	竹田綜合病院
委員	斎藤 聖仁	県北	きらり健康生活協同組合須川診療所	委員	熊田 良二	浜通	鹿島厚生病院
委員	小野 祐一	県北	野田循環器・消化器内科外科クリニック	委員	高橋 豊和	浜通	磐城中央病院
委員	関根 康孝	県南	太田熱海病院				

ネットワーク委員会

委員長	石森 光一	県南	白河厚生綜合病院	委員	三瓶 孝	県南	総合南東北病院
副委員長	新里 昌一	県南	太田西ノ内病院	委員	小柴 祐介	会津	竹田綜合病院
委員	渡辺 進	県北	わたり病院	委員	佐藤 浩郁	浜通	呉羽綜合病院

記念誌発行委員会（特別委員会）

委員長	鍵谷 勝	県南	総合南東北病院	委員	布川真理子	浜通	渡辺病院
副委員長	佐藤 勝正	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	鈴木 雅博	会津	竹田綜合病院
副委員長	池田 正光	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	名城 敦	浜通	いわき市医療センター
委員	新里 昌一	県南	太田西ノ内病院	委員	斎藤 康雄		

令和5・6年度 地区委員会

県北地区

委員長	池田 正光	福島県立医科大学附属病院	委員	相澤 浩樹	福島赤十字病院
副委員長	松井 大樹	北福島医療センター	委員	橋本 浩二	大原綜合病院
副委員長	三浦 勉	二本松病院	委員	浅野佳寿雄	公立藤田綜合病院
委員	小野 祐一	野田循環器・消化器内科外科クリニック	委員	佐藤 真司	杣記念病院
委員	齋藤 聖二	きらり健康生活協同組合須川診療所	委員	高橋 克広	福島県立医科大学附属病院
委員	安藤 智則	大原綜合病院	委員	渡辺 進	わたり病院
委員	佐藤 勝行	福島赤十字病院	委員	樵 勝幸	福島県立医科大学附属病院
委員	笹木 毅	公立藤田綜合病院	委員	宮岡 裕一	福島県立医科大学附属病院

県南地区

委員長	鍵谷 勝	総合南東北病院	委員	白石 嘉博	たむら市民病院
副委員長	濱端 孝彦	坪井病院	委員	瀧田 幸子	太田西ノ内病院
副委員長	大原 亮平	太田西ノ内病院	委員	深谷 理人	太田西ノ内病院
委員	國分 美加	総合南東北病院	委員	鈴木 博文	星富久山医院
委員	三瓶 孝	総合南東北病院	委員	関根 康孝	太田熱海病院
委員	秋山 俊一	総合南東北病院	委員	石森 光一	白河厚生綜合病院
委員	伊藤 敬	寿泉堂綜合病院	委員	長谷川栄寿	公立岩瀬病院
委員	佐久間守雄	星綜合病院			
委員	菅野 修一	田村市立都路診療所			

会津地区

委員長	鈴木 雅博	竹田綜合病院	委員	小林 瞳	竹田綜合病院
副委員長	渡部 仁	会津医療センター	委員	高畑 賢也	飯塚病院附属有隣病院
副委員長	森谷 辰裕	会津中央病院	委員	風間 顕成	坂下厚生綜合病院
委員	井上 基規	竹田綜合病院	委員	白岩 大輔	会津中央病院
委員	早川 努	竹田綜合病院	委員	遠山 和幸	南会津病院
委員	千葉 沙織	竹田綜合病院	委員	皆川 貴裕	竹田綜合病院
委員	小沼慎一郎	会津中央病院	委員	星 智徳	わかまつインターベンションクリニック
委員	栗田準一郎	竹田綜合病院	委員	山下 朋廣	竹田綜合病院
委員	吉田 賢	会津医療センター	委員	白川 義廣	佐藤医院

浜通地区

委員長	名城 敦	いわき市医療センター	委員	熊田 良二	鹿島厚生病院
副委員長	新妻 知之	かしま病院	委員	清野 保幸	福島労災病院
副委員長	久米本祐樹	南相馬市立綜合病院	委員	高橋 豊和	磐城中央病院
委員	高橋 誠	いわき市医療センター	委員	布川真理子	渡辺病院
委員	石川 智大	いわき市医療センター	委員	大井 和広	小野田病院
委員	渡邊 聖史	いわき市医療センター	委員	佐藤 浩郁	呉羽綜合病院
委員	田代 和広	公立相馬綜合病院	委員	白土 恵	常磐病院

～ 県会長 + JART地域理事 「オンレコ」 ～

1 「県年度末の電子申告POSS」 3月17日

公益社団法人として、年度末の電子申告を行いました。

2 「県技師会期末監査」 4月25日

福島市の高橋会計事務所で行われました。来年度より監事・会計士が郡山の監事と税理士に替わります。長年、無償でも監事を務めていただいた事に感謝して記念賞状をお渡ししました。

3 「JART第1回理事会の資料提出」

5月1日

東北6県の活動報告と活動予定をまとめてJARTへ提出しました。

4 「JART第1回理事会」 5月13日

午後からWeb開催の予定で上記3を説明しました。

5 「第1回東北会長会議」 5月15日

TCRTのJART企画の今後の方向性について議論を行いました。またJART第1回理事会の報告もしました。

6 「県定時総会」 5月27日

担当の浜通り協議会で名城理事を中心に、積極的に動いていただきスムーズな開催が出来た事を御礼申し上げます。中断して、第1回理事会を開催して、会長・副会長を選出しました。新しい理事を含めて新体制で令和5-6年度の活動を進めて参ります。

7 「合同委員会」 6月18日

新体制での活動スタートのキックオフを行うため、60名の委員が参加してくれました。各委員会に分かれて議論を行い、最後に委員長から活動方針等を発表して貰いました。

令和5年度 学術大会開催概要決定

令和5年10月22日(日)星総合病院ポラリス保健看護学院メグレスホールにて開催いたします。つきましては、演題を募集いたしますので、たくさんのご応募お待ちしております。詳細につきましては、県ホームページ (<https://fart.jp/>) をご確認ください。

職場異動や住所変更があった場合

JART会員の方は、JARTと県技師会の双方に連絡をお願いいたします。

県会員の方は、県技師会へ連絡をお願いいたします。

令和5年度 福島県診療放射線技師学術大会

開催日：令和5年10月22日(日)

場 所：星総合病院ポラリス保健看護学院
メグレスホール

演題募集期間：令和5年7月1日(土)～

8月12日(土)

地区だより

会津地区

「2023年度 会津乳房撮影研究会」開催

5月19日(金)に竹田総合病院にて開催され、県技師会会員12名、非会員2名の参加がありました。今回は、乳がん検診の施設検診についての報告のあと、竹田総合病院の鈴木梨紗氏より「当院におけるマンモグラフィの線量測定・管理について」の題で発表がありました。技師会所有のX線アナライザPiranhaを使用した平均乳腺線量の測定やDRLs2020との比較、線量管理システムの利用についてお話しいただきました。

今年度は4年ぶりの会場開催となり、束の間ではありましたが、久しぶりの交流を喜ぶ様子もみられました。

(小林)



「第1回会津地区協議会委員会」開催

7月13日(木)に竹田総合病院とWebによるHybrid開催にて行われ、会場11名・Web3名の出席により開催されました。

委員会は、鈴木雅博委員長を議長とし、今年度委員の自己紹介から始まり、続いて県理事会報告及び令和5年度事業についての話し合いを行いました。

3年間中止となっておりました「会津若松市健康まつり」は10月29日(日)に予定されており、パネル展示等で参加することが決定しました。「会津画像研究会」は例年通り3回の開催を予定し、会場での開



催を主としたHybrid開催で準備することになりました。

(風間)

浜通地区

「浜通り地区協議会 夏季研修会・学術大会開催のお知らせ」

新型コロナウイルス感染症が、感染症法上5類相当に分類されたことを受けて、いわき市医療センターにて会場型で開催いたしますので多数の参加をお願いします。尚、参加は事前登録制とします。(当日の参加登録も受付けます)

開催日時：令和5年8月26日(土) 14:00～

開催場所：いわき市医療センター

きょうりつ講堂

参加登録について：

QRコードよりお願いします。

登録期間：

令和5年7月31日～

8月26日 12時

問合せ先：hama.fart.office@gmail.com



編集後記

先日合同委員会が行われ、令和5・6年度の各委員会のメンバーの確認ができましたので今号に名簿を記載しています。新型コロナ感染にも注意して日常業務と技師会の仕事も頑張りたいと思っています。

(大井)